凍結乾燥ハムスターインスリン標準品の使用方法

超高感度ラットインスリン測定キット

超高感度マウスインスリン測定キットで使用の場合

凍結乾燥ハムスターインスリン標準品に 100 μL の蒸留水またはイオン交換水を加えて溶解して下さい。インスリン標準溶液は 25.6 ng/mL となります。

キット付属の検体希釈液でインスリン標準溶液を希釈し、下記に示しますように標準曲線用インスリン溶液を調製して下さい。

■測定操作手順 1

	標準曲線用インスリン溶液(ng/mL)							
	3.2	1.6	0.8	0.4	0.2	0.1	0.05	0
インスリン標準溶液	50							
検体希釈液	350	50	50	50	50	50	50	50
総液量	400	50 → 100	50 → 100	50 → 100	50 → 100	50 → 100	50 → 100	

(μL)

調製した標準曲線用インスリン溶液は、取扱説明書 5 ページ記載の方法に従い使用してください。

■高インスリン濃度測定法

凍結乾燥ハムスターインスリン標準品に 80 μL の蒸留水またはイオン交換水を加えて溶解して下さい。インスリン標準溶液は 32 ng/mL となります。

キット付属の検体希釈液でインスリン標準溶液を希釈し、下記に示しますように標準曲線用インスリン溶液を調製して下さい。

	標準曲線用インスリン溶液(ng/mL)							
	32	16	8	4	2	1	0.5	0
インスリン標準溶液	80							
検体希釈液		40	40	40	40	40	40	80
総液量	80	40 → 80	40 → 80	40 → 80	40 → 80	40 → 80	40 → 80	

(μL)

調製した標準曲線用インスリン溶液は、取扱説明書 13 ページ記載の方法に従い使用してください。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせ下さい。

凍結乾燥ハムスターインスリン標準品の使用方法

ラットインスリン測定キット

マウスインスリン測定キットで使用の場合

凍結乾燥ハムスターインスリン標準品に 256 μL の **G 検体希釈液**または培地等※を加えて溶解して下さい。インスリン標準溶液は 10 ng/mL となります。

そのインスリン標準溶液を **G 検体希釈液**または培地等※で希釈し、下記に示しますように標準曲線用インスリン溶液を調製して下さい。

	標準曲線用インスリン溶液(ng/mL)							
	10	5	2.5	1.25	0.625	0.313	0.156	0
インスリン標準溶液	256							
検体希釈液または培地等※		50	50	50	50	50	50	50
総液量	256	50 → 100	50 → 100	50 → 100	50 → 100	50 → 100	50 → 100	

(μL)

※　検体の種類および使用量により組成が異なります。

血清・血漿検体を測定する場合　・・・・・・・・・・G 検体希釈液

培地等の検体を 5 μL で測定する場合・・・・・・・・G 検体希釈液

培地等の検体を 5 μL を超える量で測定する場合・・・検体と同一組成の培地等

調製した標準曲線用インスリン溶液は、取扱説明書 5 ページ記載の方法に従い使用してください。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせ下さい。